

2025 年 9 月 18 日

情報・システム研究機構
戦略企画本部長
中野 美由紀

2026 年度 戦略的研究プロジェクト 募集要項

(1) 概要

情報・システム研究機構では、新しい研究領域を生み出すような共同利用・共同研究の機会を全国の研究者に提供することをめざして、戦略的研究プロジェクトを募集します。

当機構では、生命、地球、環境、社会などに関わる複雑な問題を「情報とシステム」という立場から捉え、分野の枠を超えた融合的研究、データ駆動型研究等に取り組んでいます。

本募集では、こうした目標に沿った、大学共同利用機関として重点的に進めるべき、異分野間の連携を必要とする研究テーマ、当機構内の研究所間で連携して進める融合的、学際的研究テーマ、及びデータ基盤構築に関する研究テーマを募集します。また、共同研究の相手先が海外の大学、研究機関等の場合、「国際ワークショップ」「MoU 締結に至る活動」「MoU 締結後の活動」「国際共同研究」等の 4 つの活動による国際共同研究を通じて、機構の研究開発と事業の国際的競争力の向上、及び国際的連携の強化を目的としております。国際共同研究に関しては、その内容に応じて、戦略的研究プロジェクトの予算に国際共同研究にかかる渡航費等の加算を行うこととします。

(2) 目的

大学共同利用機関としての情報・システム研究機構が、その共同利用・共同研究を担う基盤的役割の強化のため、国際的な学術動向及び社会が求める役割・期待を踏まえて、各研究分野の成果を基礎に、単独の分野だけでは解決が難しい社会課題や研究テーマに対して、複数の分野で連携し、融合することにより貢献できる学際的研究を長期的な観点から育て、国内外の研究者・研究組織との連携をより一層推進することを目的とします。また、将来有望な国際共同研究が期待できる MoU 締結・コンソーシアム形成に至る活動、MoU 締結後の交流活動、MoU に基づく国際共同研究を推進することを目的とします。

(3) 募集要領

① 募集プロジェクト

- 「応募計画書」内で「研究カテゴリーⅠ」を選択してください（複数選択可）。
 - ☐ 未来投資（新分野・新領域開拓）
 - ☐ 異分野融合（複合分野・多機関との共同研究推進）
 - ☐ 地球規模課題・社会課題（喫緊の課題への対応）
- 「応募計画書」内で「研究カテゴリーⅡ」を選択してください（複数選択可）。

「研究カテゴリーⅡ」については、提案する研究テーマが該当する区分を選択してください

(複数選択可)。区分は、後述の「④提案内容の説明」に記載の本プロジェクトが推奨する研究テーマの説明をご参照ください。

- ☐ データ基盤構築に関する提案
- ☐ 当機構内の研究所間で連携した提案
- ☐ 国際共同研究
- ☐ 上記以外

- 研究プロジェクトは最長 3 年間となります。ただし、初年度は調査研究 (FS: Feasibility Study) として、具体的な研究テーマについて、研究プロジェクトとしての実現可能性を調査・研究していただきます。単に網羅的に研究テーマを調査するような提案 (エリア・サーベイ) は対象外です。
- 初年度の調査研究について、その成果を評価ならびに審査したうえで、本格的な研究に継続する価値があると判断される場合に限り、2 年目以降の本研究に進む可能性があります。なお、申請書には調査研究 (FS) の 1 年間の研究計画をご記入ください。

② 応募条件：

- 若手研究者 (40 歳未満) が代表者、あるいは研究体制に含まれていることを推奨します。「研究計画書」内で選択してください。
- 研究代表者 1 名につき、応募できる課題は 1 件のみとします。
2026 年度に本研究 1 年目あるいは 2 年目を迎える研究代表者は応募できません。
- 以下の条件をすべて満たしていることが必要です。
 - 研究代表者は、研究者番号を所有している研究者 (研究教育職員・特任教員・特任研究員等) であること。平成 30 年度より募集範囲を当機構外にも拡大し、国立大学法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、国立研究開発法人、国立研究機関に所属する国内研究者が申請可能としています。
 - 研究代表者が当機構に所属していない場合には、必ず当機構に所属する研究者が共同研究者に含まれること。また、当機構に所属する共同研究者のうち 1 名が予算執行責任者となること (予算執行責任者の役割については別紙参照)。本プロジェクト費用は、外部機関には経費の配分をいたしません。

③ 研究期間

- 調査研究 (FS) の期間は採択日から 2026 年度末までです。応募にあたっては、当初 1 年間の研究計画を記入してください。
- 年度末に実施する評価審査会の結果により、その次の年度から 2 年間にわたり本研究を継続できる可能性があります。FS 評価審査会で提出する報告書に、本研究 2 年分の研究計画を記入していただきます。

④ 提案内容の説明：

以下の観点を考慮して、わかりやすく説明して下さい。

1. 記述全般：専門用語には解説をつけるなど、専門分野の異なる審査委員にも内容が十分伝わるような記述を心がけて下さい。
2. プロジェクトとしての意義：提案の意義や将来的な展望について具体的に説明してください。他分野の審査委員に対しても、提案の重要性が訴求できていることが、評価ポイントの1つになっています。
3. 研究内容（用途）と必要経費内訳の対応が明確になるように記載して下さい。
4. 挑戦性、独自性（新規性）、有用性、実現性の4つの観点の中から、提案内容の特徴を考慮して適切なものを1つ以上選択し、申請書に記載してください。
4つの観点については、次の記載をご覧ください。
 - = 挑戦性：新しい問題を定義し、これに挑戦すること。
 - = 独自性（新規性）：既知の問題に対して、オリジナリティのあるアプローチを取ること。
 - = 有用性：その成果が幅広く研究者コミュニティや社会に貢献しうるもの。
 - = 実現性：遂行可能な研究計画に基づき、本研究終了後に実用化等の見込みがあること。
5. 大学共同利用機関における共同利用・共同研究に向けた発展の可能性：得られた研究成果が将来的に共同利用機関としての機構の本事業となりうると判断された場合、当該提案を特に高く評価します。分野横断的な共同研究であること、又は情報・システム研究機構を中核機関とした大学等との共同利用への発展性（例：データベースの提供や解析手法の提供など）があることについて記載してください。

本プロジェクトでは、以下の研究テーマを特に推奨・評価します。

- 複数の分野で連携する、融合的、学際的研究テーマ。特に当機構内の研究所間で連携し、単独の分野だけでは解決が難しい複雑な社会課題や研究テーマに対する貢献を目指す研究テーマや、新しい研究分野の創出を目指す研究テーマ。
- 大学共同利用機関としてのミッションであるデータ基盤を構築する研究。実験・観測による大量のデータの生成とデータベースの構築、情報の抽出とその活用法を開発する研究テーマ。
- 将来有望な国際共同研究が期待できる MoU 締結・コンソーシアム形成に至る活動、MoU 締結後の交流活動、MoU に基づく国際共同研究を推進することを目的とする研究テーマ。

注) なお、本公募では、既存の専門分野を深化・発展させるテーマを募集していないことにご留意ください。

情報・システム研究機構の各研究所等が募集する公募型共同研究に適する研究内容の場合は、該当する研究所等への申請をお願いします。

⑤ 研究成果等の扱い（知財及び成果発表）

- 当機構に所属する研究者が成した成果には、当機構の職務発明等規程等を適用します。
- 当機構に所属していない研究者と共同で成した成果は、その成果を成した者ないしその所属機関の共有とすることを原則として協議により定めます。
- 同研究の成果を学術論文として発表する場合には、必ず謝辞欄 (Acknowledgements) に本共同

研究に基づくものであることを次の例のように明記してください。

- ・ 本研究は、情報・システム研究機構“戦略的研究プロジェクト”の支援を受けたものである。
- ・ This research was supported by "Strategic Research Projects " grant from ROIS (Research Organization of Information and Systems).

⑥ その他

- 本募集は、機構外にも公募します。審査は、外部審査委員を含めた審査委員会で厳正に行います。
- 申請書に記載された個人情報、情報・システム研究機構個人情報保護規程に基づき、適切に利用／廃棄します。

(4) 予算措置

- 初年度の調査研究（FS）は1件当たり100万円を上限とします。但し、「**機構内の研究所間で連携した提案**」、「**国際共同研究**」※については、**100万円の加算を認めます**。

なお、FSに採択された後、年度末のFS評価審査の結果により、その次年度以降に本研究として継続することになった場合には、300万円を各年度の上限とする予定です。

※上記の加算を認める「**機構内の研究所間で連携した提案**」「**国際共同研究**」とは、**機構内からの申請において、共同研究者の中に、研究代表者自身の所属研究所・施設以外の機構内研究所・施設に所属する研究者がいる提案のことです**。

※採択された場合でも予算の充足率が低くなることがあります。また、本研究に採択された場合、「機構内の研究所間で連携した提案」と「国際共同研究」でそれぞれ各年度50万円まで増額を認める予定です。

- 「会議費」及び「人件費」は、本経費からの支出はできません。また、本プロジェクト経費で購入した備品は、情報・システム研究機構の資産として登録されます。（「備品」とは、「10万円以上50万円未満の少額資産」及び「50万円以上の固定資産」を指します）

(5) 応募方法

- JR0IS2（注）にて以下の提出期限までに申請登録を完了させてください。

（注）JR0IS2については別添資料をご覧ください。

- 以下の提出期限までに別紙1「研究計画書」を作成のうえ提出してください。

当機構外の申請者（研究代表者）は、予め所属長による承諾を得て申請してください。

（当機構に所属する研究代表者は所属長の承諾は必要ありません。）

➤ 提出先：

研究代表者が、「研究計画書」をJR0IS2に申請登録し、情報・システム研究機構 戦略企画本部へ提出すること。

➤ 提出期限：2025年11月28日（金）正午 JR0IS2にて申請完了

➤ 審査：戦略企画会議委員による議を経て、情報・システム研究機構戦略企画本部長が採否及び予算額を決定します。提出された書面を、外部審査委員を含む審査委員会で審議

し、必要に応じてヒアリング面談を実施する場合があります。なお、ヒアリング面談の対象にならないプロジェクトであっても、それだけで不採択となるものではありません。

➤ 採否通知：2026 年 3 月上旬予定（メールで採否のみの通知予定。配分額は別途通知）

（6） 報告等

- 年度末に当機構内および外部有識者で構成される評価審査会を開催し、調査研究：FS の成果について総合的な評価を行います。研究開始時の申請書の記載内容及び FS 採択時の審査員コメントを踏まえ、研究の進捗度合いや本研究の計画の妥当性等も、判断材料とします。
- 次年度以降の展開を考慮し、本研究への進展を検討します。
- 研究 3 年目となる 2028 年度以降に本研究に進む場合は、本研究最終年度の秋に開催する「成果報告会」で、プロジェクト全体の成果ならびにその後の展開について発表して頂く予定です。
- 研究代表者がエフォート管理を求められる場合、プロジェクト開始前に所属上長等に確認をお願いします。

（本プロジェクトの制度等に関する問合せ先）

情報・システム研究機構

戦略企画本部

TEL：03-6402-6223

E-mail：jigyo@rois.ac.jp

2026 年度戦略的研究プロジェクト計画書

提出日 2025 年 月 日

1. 研究課題名 / Title of Proposed Research Project

研究課題名 (和文/Jpn)	
English Title (英文/Eng)	

研究カテゴリー I /Category I	☐	未来投資（新分野・新領域開拓）
	☐	異分野融合（複合分野・多機関との共同研究推進）
	☐	地球規模課題・社会課題（喫緊の課題への対応）

「研究カテゴリー I」の該当するところを選択(複数選択可)して必ずチェックを入れてください。☑

研究カテゴリー II /Category II	☐	データ基盤構築に関する提案
	☐	当機構内の研究所間で連携した提案
	☐	国際共同研究
	☐	上記以外

「研究カテゴリー II」の該当するところを選択(複数選択可)して必ずチェックを入れてください。☑

「国際共同研究」にチェックした場合は、6. MoU 締結情報及び共著論文の情報等も記載してください。

2. 申請者（研究代表者） / Applicant (Research Representative)

氏名/Name		
所属機関/Institution		
部局/Department		
職名/Job Position		
研究者番号/Researcher ID		
連絡先/Contact	E-mail :	Tel :
若手研究者	☐ 40 歳未満/under age 40	

若手研究者（40 歳未満）の場合は、「若手研究者」欄にチェックを入れて下さい。☑

3. 予算執行責任者（所内受入責任教員）/Coordinator responsible for budget execution in ROIS
（研究代表者と同一の場合は” 同上” と記載してください。）

氏名/Name		
所属機関/Institution		
部局/Department		
職名/Job Position		
連絡先/Contact	E-mail :	Tel :
若手研究者	☐ 40 歳未満/under age 40	

若手研究者（40 歳未満）の場合は、「若手研究者」欄にチェックを入れて下さい。☑

4. 共同研究者 /Co-Researcher

氏名 Name	所属機関 Institution	部局 Department	職名 Position	若手 ※	共同研究における役割 Role in this Project
○○○○○	○○○○○○○○○	○○○○○○○	○○○○○	☒	○○○○○○○○○○○
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	

若手研究者（40 歳未満）の場合は、「若手※」欄にチェックを入れて下さい☑

予算執行責任者を共同研究者にも記入してください。

5. 所属長の承諾（情報・システム研究機構外に所属の研究代表者のみ）

当機構外に所属する申請者（研究代表者）は、所属長による下記の確認事項についての承諾が必要です。所属機関で下記の事項について承諾を得た後、下にチェックを入れてください。

公印の押印は必要ありません。

研究代表者の所属機関名		
所属長の役職名		
所属長の氏名		
確認事項	☐	申請者（研究代表者）が 2026 年度 情報・システム研究機構 戦略的研究プロジェクトに申請し、研究を実施することを承諾します。 なお、申請者のかかわる研究不正が発覚し、該当する研究内容に本プロジェクト費用が用いられたことが判明した場合は、プロジェクト費用の返還について同意いたします。

6. MoU 締結情報及び共著論文の情報等 ※(「研究カテゴリーⅡ」で「国際共同研究」にチェックされた方は記載してください)

MoU 締結に関する情報と MoU から生まれた共著論文(論文情報)について記載してください。共著論文は投稿予定あるいは投稿中についても記載してください。なお、MoU 締結に至る基となる国際共著論文をご存知の場合は、その論文情報についてもご記入ください。

MoU 締結に関する情報

相手先機関名	国名	締結時期	MoU 名称	備考

MoU に基づいて生まれた共著論文情報

著者名	論文タイトル	雑誌名	Vol, 頁, DOI, 発行時期等	備考

MoU 締結に至る基になった国際共著論文

著者名	論文タイトル	雑誌名	Vol, 頁, DOI, 発行時期等	備考

7. 研究の概要

(A4 数頁で具体的に記載して下さい。記述全般についての注意点：専門用語には解説をつける、図の活用など、専門分野の異なる審査委員にも内容が十分伝わるように記述願います。)

(1) 背景・目的及び目標

(当該研究の背景・目的及び計画期間内の達成目標を記載して下さい。)

(2) 本研究の意義

(大学・研究者コミュニティの要請や当該学問分野の動向、国内外における関連分野の学術研究の動向等を踏まえた重要性、学問的意義等を、分野外の研究者に分かるように平明に記載して下さい。)

(3) 研究内容の挑戦性・独自性(新規性)・有用性・実現性について

(挑戦性、独自性(新規性)、有用性、実現性の4つの観点の中から提案内容の特徴を考慮し、適切なものを1つ以上選択し記載して下さい。)

(4) 大学共同利用機関における共同利用・共同研究に向けた発展の可能性

(分野横断的な共同研究や、情報・システム研究機構を中核機関とした大学等との共同利用への発展性等を記載して下さい。)

(5) 期待される成果等 (学問的効果、社会的効果、改善効果等)

(事業達成による効果について記載して下さい。例：学問的波及効果や成果の具体的活用方法、成果による社会的波及効果、新学問分野創成や大学の教育研究活動にもたらす改善効果等。)

8. 研究計画

(1) 全体計画

(当助成期間以外も含めて、研究全体の計画を簡潔に記載して下さい。)

(2) 計画

(【FS (調査研究)】2026 年度の計画を記載して下さい。)

9. 必要経費

※1 「会議費」及び「人件費」は経費からの支出はできません。以下に内訳を記載して下さい。

※2 物品は、研究の遂行に必要な用途に限るもので、本来、研究所・施設が購入すべき基盤物品は含みません。

※3 各内訳項目の具体的な説明を本文中に明記して下さい。

2026 年度 (調査研究：FS の計画)

費目	金額	主な用途
・ 物品費 ・ 旅費 ・ 謝金 ・ その他		
合計		

10. 応募中・受入予定の研究費

「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、プロジェクトが十分に遂行し得るかどうか」判断す

るため、以下の表に記入してください。

研究費の応募・受入等の状況・エフォート					
本応募研究代表者の応募時点における、(1)応募中の研究費、(2)受入予定の研究費、(3)その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。 ① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。 ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募プロジェクトを記入してください。 ③ 所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても記入してください。					
(1) 応募中の研究費					
資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	プロジェクト名(研究代表者氏名)	役割(代表／共同研究者の別)	2026年度の研究経費	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募プロジェクトに応募する理由
【本応募プロジェクト】		代表			
(2) 受入予定の研究費					
資金制度・研究費名(研究期間・配分機関等名)	プロジェクト名(研究代表者氏名)	役割(代表／共同研究者の別)	2026年度の研究経費 (期間全体の額 (千円))	エフォート(%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募プロジェクトに応募する理由
(3) その他の活動					
上記の応募中及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。					
合 計 上記(1)、(2)、(3)のエフォートの合計				100(%)	

1 1. 特記事項、他